7月26日 火曜日 25日発行 昭和30年西暦1955年

内外タイムス THE NAIGAI TIMES

発行所 内外タイムス社 東京都中央区銀座西3の5 電話 代表 京橋(56)8646

第3168号 （昭和24年6月27日第三種郵便物認可）（昭和29年5月27日国鉄特別扱承認第232号）（内閣郵政省…第0136号）

4版

天気予報

今晩 南の風時たり曇ったり沿岸および山沿いでは俄雨。
明日 南の風晴、時々曇、山沿い俄雨。

【全国概況】オホーツク海に発達した低気圧があり、本邦の南海上は高気圧に覆われている。このため南西 島から三陸沖の海上及び関東沿岸部では南西の風が強く、ところどころ俄雨が降っている。

あすの暦 7月26日・火		
旧暦		6月8日
月齢		6.6
日出	前	4.43
日入	後	6.51
月出	前	11.43
月入	後	10.30
満潮	前	9.50
	後	9.50
干潮	前	3.30
	後	3.15
（小潮）		

巨頭会談、好影響か
日ソ交渉あす再開

【ロンドン二十五日発=共同】マリク・ソ連全権の帰国とそれに続く四国巨頭会談のため中止状態にあった日ソ交渉は二十六日午後三時（日本時間午後十一時）から日本大使公邸で再開される。巨頭会談では抑留者釈放問題その他日ソ交渉と関連をもつ問題は討議されず、従って巨頭会談が直接日ソ交渉におよぼす影響はほとんどないといえるが、戦後の歴史上前例のない友好的な話合いによって緊張緩和に著しい貢献をした巨頭会談の空気が、日ソ交渉の友好的促進に好ましい刺激剤になるということは否定できない。

◇日ソ会談の国際的重要性=まず巨頭会談の中心議題の一つだったドイツ問題の具体的討議は、十月の外相会議に持ち越されたまたアデナウアー西独首相のモスクワ訪問という重要日程も次にひかえているので、全世界的国際情勢の一環としての日ソ交渉はなお新しい材料待ちの体制をとらざるをえないが、同時に日ソ交渉そのものが緊張緩和の一つのテスト・ケースとして国際情勢全般にはねかえる要素も少くなく、その意味で松本・マリク両全権の会談は今後ますます国際的重要性をましてくるものと見られている。

◇引揚問題は時間をかければ何らかの成果=十五日に行われた前回の会談はマリク全権がモスクワから帰任直後開かれただけに、同全権が本国で打合せた結果何らかの新発展があるのではないかと一部で期待されていたが、十五日の会議では新しい動きはなく、日ソ両国とも引続き既定方針通り交渉を進める態勢が明らかとなっている。したがって表面的には日ソ交渉はここしばらく従来通りの四つ相撲の継続になるものとみられ、特に日本側が平和条約の前提として持出している抑留者問題はある意味では水かけ論的要素が多く、双方の主張する抑留者の数字の相違をどのような客観的かつ合理的な線で調整するかは非常にむずかしい問題だと考えられている松本全権もこの問題について懇請と要求をくり返す以外に、余り手段がないことを認めているようだが、これまでの交渉経過およびジュネーヴ巨頭会談の模様からみて、ソ連が交渉まとめあげの決意をもっていることは疑いない。互譲と友好の精神にある程度の時間をプラスすれば、何らかの成果が生れることは十分期待できると観測されているただこの交渉は戦勝国の立場にありながらソ連側は日本から諸種の要求をつきつけら、これに対して日本側からソ連に反対給付するものは何もないという奇妙な形になっており、共に苦しい立場にある。

（上）松本全権 （下）マリク全権

売春取締りで緊急質問 参院本会議
対策、次国会に提出
法相言明 審議会の結論待ち

二十五日の参院本会議は午前十一時八分開会、日程を追加し鉄道審議会委員に佐藤博、平山孝、今里広記、関桂三、湯河元威、迫静二、島田孝一、山崎匡輔の各氏を任命することに同意、次いで売春取締りに関する緊急質問に入った。

加藤シヅエ氏（右社）一、売春問題に対する基本的な考えを明らかにせよ。
一、売春の害毒を最小限度に止めるのか、あるいは必要悪として認めるのか。
一、通常国会までに衆院の決議にもとづき売春の抜本的総合施策を立案する考えがあるか。
一、売春禁止のための社会保障施設の経費について蔵相の考え方を聞きたい。

花村法相 一、売春審議会は来る八月九日に結論を出すので、これを尊重して善処したい。
一、現在の売春対策協議会の正式答申があればこれを尊重し、次期国会までに対策を国会に提示するよう努力する。

鳩山首相 婦人の使命は貞操の基礎の上に立って人格をみがくことにあるが、人権を尊重すべき民主主義下にあって婦人の人格を汚すような制度のあることは国家の恥辱と考える。

"万葉"からの伝統
名実ともに栄養の王者

夏バテ返上 うなぎ

[illegible]

蒲焼にされるうなぎ

…当りの含有量をみると
うなぎ 五〇〇〇国際単位
[illegible] 三〇〇〇〃
[illegible] 五六〃
[illegible] 五〇〃
[illegible] 三一〃
とは二ケタも違う。参考[illegible]いうと成人一人当りの必要量は[illegible]四〇〇〇単位。

〇…都内の うなぎ専門店 は三百[illegible]場だけうなぎを売る店を加[illegible]八百軒になる。一年を通じ[illegible]平均一千貫のうなぎを消化[illegible]るが、七—八月は毎日二千[illegible]の日は二万貫売れる。二万[illegible]うと一人前三十匁として七[illegible]分、つまり都民の十人に一[illegible]う勘定だが、業者たちはも[illegible]わせようと目下「うなぎ祭」[illegible]宣伝をやっている。なお都[illegible]商消費量は四十万貫、全国[illegible]貫となっている。

〇…[illegible]ま食べているうなぎは八割[illegible]養殖もので、残りが天然物[illegible]天然物は印旛沼、松島の備州物、熊本物、江戸前などが有名だが三割がた高い。しかし通人はともかく、しろうとには判らぬから、通ぶって高い物を食うテはない。養殖物は静岡県の焼津、舞坂、豊橋などが本場で、とくに養殖発祥地の舞坂物は都内の六—七割を占める。

〇…養殖といっても卵から育てることはできない。秋、川を下った母うなぎは遠く海へ出て産卵するふ化した稚魚は二—三分位の小さいものだが、海を渡って元の川へ上って来る。これを捕えて養殖するわけだが、産卵場所は台湾またはフィリピンの東の深海ということが最近定説になった。だから養殖物といってもやはり大旅行の強者なわけだ。

〇…うなぎ百層倍という。一匹の原価百円位のものを料理したのを二—三百円で売るのだが、日本橋のあるうなぎ屋では税務署員の目の前で死んだうなぎを下水へほうりこんで、いかにもうからぬかを見せた。もうけはうなぎ同様つかみにくい。

〇…丑の日にはうなぎをさいている暇はないから、近ごろは前日にさいて冷蔵庫に入れておく店がある。だから一流以外の店で食べる人は丑の前にした方が賢明だ—というのが或るうな釜屋のあるじの忠告？であった。

粋人酔筆
昔のベビーさん

[illegible]

丸木砂土

東京株式仲値 新株落△配当落（25日前場終値）							
特定銘柄		信越化	80	倉レ	93	小西六	116
東海上	255	東高圧	124	旭化成	347	カボン	44
郵船	57	昭電工	88	山陽ベ	102	三井物	139
新三菱	—	日本曹	76	日本ベ	97	第一物	98
日清紡	262	旭電化	70	国策ベ	106	白木屋	250
味の素	—	三菱造	81	東北ベ	120	高島屋	81
三越	—	三井造	116	大東紡	96	日活	70
三菱地	—	三菱重	60	商船	44	松竹	198
平和不	174	石川重	80	三井船	47	東宝	1330
三井金	108	精工	117	野海	44	大映	178
三菱金	83	東洋ベ	103	西武	—	日本粉	128
日鉱	81	日立造	119	藤田興	208	日清粉	157
住友金	89	浦賀	47	東京ガ	67	日本ビ	155
三菱鉱	40	日平	19	東電	486	朝日ビ	178
古河鉱	60	古河電	68	日銀	—	キリン	195
同和鉱	112	日立製	71	東銀	59	宝酒造	84
住友炭	52	東芝	69	三井銀	—	合糖	230
三井山	53	三菱電	80	富士銀	87	明糖	121
北海炭	49	小松	50	日証金	82	甜菜糖	127
東邦亜	63	日本光	137	安田火	111	野田醤	190
帝石	69	キヤノ	144	大正海	92	森永	285
日石	99	東京光	—	住友海	80	明菓	182
昭和石	104	東洋紡	137	千代田	—	日水産	80
東燃	115	鐘紡	114	鋼管	71	昭和産	103
三菱石	124	富士紡	107	日製鋼	65	東洋麹	67
大協石	118	大日紡	80	八幡鉄	51	合同酒	115
日東化	78	日東紡	55	富士鉄	48	三楽	92
日産化	76	片倉	35	神戸鋼	52	大阪植	145
三菱化	104	東邦レ	98	日特鋼	109	王子紙	214
三井化	115	帝麻	51	日軽金	184	十条紙	225
協和醗	111	中織	51	日金工	59	本州紙	87
東合成	117	帝人	132	日セメ	130	三菱紙	—
三共薬	146	東洋レ	174	磐城セ	231	北越紙	55
		三菱レ	127	小野田	78	三井不	771
				横浜ゴ	162	三井倉	72
				旭硝子	143	渋沢倉	—
				富士写	127	東洋埠	—

市況 小確り場面

週明けは材料難から積極的な買気に乏しいが、大証券の継続的な優良株の物色買が続いているのと、特定株に売方の買い戻しが見られたため地合は硬調で市況は概して小確りの場面であった。特定株は東海上に丸三の十万株近い買戻しに五円方高く、これにつれてその他もマバラ買に軒並一—四円高と好調。雑株は重電機はじめ一流金ヘン株、食品、化学一部に大証券のまとまった買物が見られたため全般に手堅い動きを示し引け際金ヘン株や三井不など一部は戻り売に抑えられ伸び悩んだが、全般にはなお一—三円方ジリ高を示すものが多かった。
▽高い株=海上、東洋工五円、三菱地所、洋ベア、朝日ビ四円。
▽安い株=大同油四円。

政府、緑風に協力要請

根本官房長官は二十五日朝参院緑風会の佐藤尚武、広瀬久忠、石黒忠篤の三氏をそれぞれ私宅に訪ね重要法案成立に協力を要請した。

鳩山・緒方会談
自由党蹴る

砂田民主党国会対策委員長は二十五日午前十時四十分、院内控室に自由党の田中国会対策副委員長を訪ね、重要法案の審議を促進するため鳩山・緒方両総裁会談を開きたいと非公式に自由党側の意向を打診した。これに対し田中氏が総裁会談に難色を示したので、砂田氏は改めて同日午後一時から両党の幹事長、国対委員長会談を開きたい旨を申入れた。

内外抄

週末の静養先までに押しかけて俗務を持込まれ、俗論を語らせられる。暑いは首相商売。
◇
重要法案の成立をあせる政府与党が鳩山・緒方会談の工夫中、両巨頭会談などと申すもオゾましや。
◇
国防法案の引延し策に杉原防衛庁長官の不信任案を持出す。それで法案通過が防げたらお慰み。
◇
砂糖、バナナなどの法案が案外騒がれる。蟻や虫がついてはいないかとこの方が気になる国民。
◇
五百五十名の交通公社富士登山の大団体が無統制のため病死者を出した。無責任な商売公社。

マクれるスカートにてれる

女の子のスカートを下から吹きあげたり、空中回転機などで若者をキャー、キャーいわせるのは有名なコニーアイランドをはじめアメリカの専売特許みたいなものだが紳士淑女の国イギリスにも戦後はこの種の娯楽設備が大モテになっている。写真はキャタピラ仕掛の回転イスに座ったアイーダ・フオスター舞踊学校の若い女生徒たちがまくれあがったスカートを何とかしようとしてテレているところ【写真はキーストン特約】

成果を称賛
四巨頭、帰国の第一声

ア米大統領

【ワシントン二十四日発UP=共同】アイゼンハワー米大統領は二十四日ジュネーヴの巨頭会談を終えワシントンに帰着した際、要旨つぎのような声明を出した。

巨頭会談の成果は一体なにかということを今いうことは誰にもできないことだが、これから次第に判ってゆくことだろう。しかし今や新しい関係が樹立され世界に友好関係の徴候が生れたことは確実なことである。

イーデン英首相

【ロンドン二十四日発ロイター=共同】二十四日ジュネーヴからロンドンに戻ったイーデン英首相は飛行場で記者団と会見、つぎのように語った。

私はジュネーヴへ出発する時よりも一層国際情勢について信頼感を持っている。六日間の会談であまりこまかいところまで突込もうとしなかったのは賢明だったと思う われわれが真に達成しようとしたのは次の三点である。

一、解決すべき諸問題の提出について意見一致すること。
一、解決への道を見きわめること
一、私的な話合いで不信の念を減少すること。

以上の点についてわれわれは予期以上の成功を収めたといえる。正式会談外の四巨頭同士の個人的話合いは、互に相手を一層よく知る機会となっただけに、かけがいのない値うちのあるものだった。

フォール仏首相

【パリ二十四日発ロイター=共同】フォール仏首相は二十四日ジュネーヴから空路パリに帰着したが、飛行場で記者団につぎのように語った。

一般にいって私はジュネーヴの四巨頭会談から好ましい印象を持って帰ってきた。もちろんすべての問題がはっきりと解決された訳ではないが、解決の方向に向う雰囲気はすでにつくられた。われわれは四国外相たちの仕事の範囲をきめるための指令書の作成に成功した。しかし平和の道具はいつでもこわれやすいもので、戦争の道具ほどの精密さに欠けていることに注意せねばならない。とにかくわれわれはいまや軌道にのった。この道は長く困難だが正しい道だと私は確信している。

ブ・ソ連首相

【ベルリン二十四日発ロイター=共同】巨頭会談を終えて二十四日ジュネーヴからベルリンに到着したブルガーニン・ソ連首相は飛行場で巨頭会談の成果についてつぎのように述べた。

東西ドイツが相互に接触することがドイツ統一への唯一の道である。戦時二つのドイツが形成されたが、これはドイツの参加なくしてはドイツ問題の解決はありえないことを意味するものだ。

インドネシア政変

【ジャカルタ二十四日発UP=共同】インドネシアのアリ・サストロアミジョヨ首相以下の閣僚全員は軍の掌握に失敗したため二十四日ハッタ副大統領に辞表を提出した。

ジグザグコース
心細い不安定外交

四国巨頭会談が六日間にわたる歴史的な話し合いを遂げて幕を閉じた。世界にみなぎる平和への願いが、不可能に近い"世紀の会談"を可能としたが、その結果はソ連と西欧三国の間になお抜きがたい対立点があることを思い知らされただけであった。しかし両陣営とも平和にたいする熱望があることは変りなく、こんご"冷たい戦争"が"冷たい平和"に変っただけでも意義はあろう。今秋の外相会議が期待されるのもその点だろう。

ところでこんどの会談で興味のあったことを挙げると「クレムリンの主人公は誰か」ということが一つ、ユーゴ訪問ではわがもの顔にふるまったフルシチョフ第一書記が、ジュネーヴでは全然影をひそめ、ブルガーニン首相が存分に発言した。もう一つはアイク、ブルガーニン両巨頭が思い切った楽観論を述べると、介添役のダレス長官とモロトフ外相が議論をむずかしくしてしまうことだった。とくに後者の点は日本の状態に似ていて、鳩山首相の楽観論を重光外相が片っぱしからぶちこわすやり方が、先進国諸国の外相達によって裏づけされたみたいで苦笑させられる。

さて、思わぬところで勇気づけられた重光外相が近く渡米することになった。先に四国巨頭会談に日本政府の立場を強調して置いての渡米である。外相の胸中には世界の檜舞台に復帰する絶好のチャンスだと考えているかも知れない。しかし外相が当面する外交交渉としては、せいぜい"冷たい平和"に便乗して防衛分担金を減らすこと位いのものであろう。これにたいして米国務当局は「火事泥的だ」と早くも非難の声を上げていると外電は伝えているが、これだって黙っているよりはいった方がよい。ただし、世界は今や平和のため、世界のためなら文字どおり恩讐を越えて巨頭が一堂に会して話し合うというのに、日本では党派を超越した問題であるべき防衛金問題についてでさえ、四党々首会談が開けない状態なのだ。こうした不安定な"国の事情"を背景に出かける重光外相に、どんな交渉ができるか甚だ心細いものである。（佐）

【写真は重光外相】

青春無宿（77）
大林清 作　下高原健二 画

父と子（八）

次郎はノワというその酒場を出てから、横浜公園の付近まである いてみた。

清隆に聞いたように、公園と馬車道の間には、駐留軍のカマボコ兵舎の建ちならんでいる区画があった。緑色に塗った金網の柵がその周囲に張りめぐらされ、作業衣姿の黒人兵の姿が見られるばかりで、そこが母の生れた土地だという感傷をそゝる 何ものも なかった。

伊勢佐木町もあるいた。浅草の裏街か池袋の感じに似た野毛の繁華街では、雑踏に揉まれてもみた。満々と水をたたえた川のほとりに立って、長いことボンヤリ時間を過しもした。

やっと日が暮れかけてから、見当をつけておいた野毛へもう一度ひきかえし、労働者風の客がたてこんでいる飲み屋で、アルコール臭いウイスキーを飲んだ。

そこを出たのはどうやら予定の八時頃だった。おそい方がいいとスミ子に云われていたので、なるべく手間どりながら"ノワ"の方面へ足をむけたが、昼と夜とでは街の相貌が変るせいか、たしかにここらあたりと思ったところに"ノワ"が見あたらず、一時間足らずも探しまわったあげく、やっとその店へたどりついたのは、もう十時にもなる頃だった。

店内は薄暗く、二た組の客がはいっていた。一と組はヴァルマンたち四人の安南人、もう一と組はそれがもと神戸精器にいたという男なのだろう、中年と思われる肥満した後ろ姿が、マダムのスミ子とむきあっている。

次郎があゆみ入ったのを見ると額をよせて何か密談でもしていたような安南人たちは、一せいにふりむいたし、スミ子は待ちかねた様子で客の席を立って来た。開店早々とは聞いていたが、女給などは一人もいなかった。

「いらっしゃい、お待ちしていたんですのよ」
「あの人ですか」
「ええ、そうなんですの、神戸精器の寮のことなら、その方の監督みたいなことをしていたことがあるので、よくごぞんじだそうです」

次郎はこの瞬間まで、待った甲斐があったと思った。はやる気持を押ししずめながら、スミ子のあとからついて行くと、

「やァお帰り、わたしたちの用事は済んだのですが、あなたが見えるのをお待ちしていました」

と、ヴァルマンが例の愛想笑いをうかべながらむかえて、

「どうぞあなたの用事を済ませて下さい、早目に東京へ帰って、また兆子さんでもつれだしてナイト・クラブへ行きましょう」

次郎は会釈しただけで、その横を通りすぎ、奥のテーブルにいる客へ近づいた。

「この方なんですの」

スミ子のその声で、肥満した客はふりむいた。後ろ姿の印象より顔は若かった。

「どうぞ何でもきいて下さい、会社の寮のどういうことをお知りになりたいのですか」

男は案外好人物らしく、気さくな調子で話しかけた。

「さァ宇田さん、どうぞおかけになって。こちら早川さんとおっしゃるんですの」

スミ子が自分の席を次郎にゆずった。

"お給料"調査いたします

不貞亭主には痛い興信所 "國際婦人擁護連盟"

近ごろになってヤレ男女同権だ、女性解放だと声を枯らして叫んだ甲斐あってか、女房から三下り半をつきつけられる力弱き亭主がチラホラ現われているが、世の大半はやっぱり亭主が権力を握っているのが実情であるようだ。その矢先、世にも珍らしき広告が現われた、曰く「御主人の収入が不明の方御依頼に応じて調査致します」というのである。スネに傷もつ亭主族はこの広告を読んだ途端、思わずギョッ！と眼をみはらしたに違いない。これもまたデフレが生んだ新商売といえばそれまでだが、まずは広告主たるその名もいかめしい国際婦人擁護連盟の弁に耳を傾けてみよう。

【写真はその入口と広告】

神田駅に近く、とある運動具店の横の入口に「国際婦人擁護連盟」と書いた紙が貼られてある。これをたよりに暗い階段を登って行くと、十坪ほどの小ぎれいな室に突き当る。室には事務局長の小田さん以下七人の所員が忙しそうに働いている。昨年十一月、目黒に産声をあげ、つい先ごろ神田に移転してきたばかりだが、所員の五十嵐さんの話によると……。

いまある興信所は大体個人の素行調査に重点を置いてあるので利用者も物事が破局にきた場合に調査を依頼することが多い。興信所の調査件数十のうち七、八件までは夫あるいは第三者の非行の事実をつかまえると離婚成立などの破局に追い込んでいるのが実情だ。これでは世のためになる調査ではなく、ためにする他人のアラ探しに過ぎない。それにしてもとかく夫婦の間に離婚訴訟などのトラブルが起るのは、月給以外のものを含めた夫の金収入が一体幾らあるのかを確実に妻がつかんでいないところに原因していることが多い。そこでこうしたトラブルを未然に防ぐ為、月々の夫の収入を確実につかんでいれば、もし夫が家にもって帰る金が少なければたちどころに食い違い分の行方を究明できる。こうなると自然に夫が他で使う糧道を断つことになり、事件を未然に防止する手段ともなる。いうなれば妻に与えられた無抵抗主義の一つの戦術である。

というのである。この会は会員制になっており、いまのところ賛助会員百名足らずで維持されているが、これは調査依頼にきた裕福な家庭の主婦や会員名簿に名を連ねる月五百円の会費の他、月々五千円以上の寄付を仰ぐことになっている。ゆくゆくは有名婦人を集めた名誉会員と平凡なサラリーマンの妻を対象にした普通会員制を設けることになっているという。

浮気締出し堅実家計へ

世直しは主婦からと氣焔

四万円以上の食違いは必ず二号を囲う

一番苦手なのは新聞社

いままで依頼された調査の結果、月々女房が亭主から有難く頂戴している収入と同じというのは皆無で、全部が全部、旨からいって二号のことには一切ふれずに収入を毎月報告している。一番収入を調べやすいのは百人位いの事業所。調べのむずかしいのは商店の経営者、会社重役、重役でも会社が一流になればなるほどむずかしく、要するに機密費の多くでているところほど調べにくいそうだ。この意味で新聞社の収入調査ほどむずかしいところはなく、その道のベテランをもって鳴るここの所員でも勤めが新聞社と聞いて調査を断ったこともあるそうだ。

額の差が四万円以上のときは必ずといってよいほど二号につぎ込んでいる例が多いが、会の趣旨からいって二号のことには一切ふれずに[illegible]りを除で発揮しているといったところが実情のようだ。調べ上げた収入と、家へもって帰る金りはない、これは一寸風変りな

収入の五分の四は2号へ

ある実例

亭主の不貞ぶりにはこんな例がある——今年に入って間もなくのこと、見すぼらしい格好の婦人が「実は…」と調査を依頼にきた。早速その家に行って見ると、門はくずれかかってアバラ屋同然、主人からは月々二万円、それも二千円、三千円と小だしの当てがい扶持、子供三人を抱えた奥さんは学校の給食費にもこと欠く始末の窮乏ぶり。そこでご主人の方を調べてみると七、八人の使用人を使って繊維問屋を経営している。店員を買収して聞いてみると、一番番頭格が月四万円の給料、店主は月十万円の収入は軽いと判った。つまり二号に収入の五分の四を入れ上げていたわけだ。調査してから四カ月後ふたたび事務所に訪れた当の奥さんは「お蔭様で主人も二号さ[illegible]たち、二年た[illegible]謝の涙を浮か[illegible]

五十嵐さん[illegible]が大きく根を[illegible]一部の不[illegible]い。この[illegible]会費が少[illegible]というのが[illegible]たあくまで[illegible]嘩の材料に[illegible]反するので[illegible]くいい聞か[illegible]と語ってくれ[illegible]

モダン歳く記

慶安太平記

慶安四年七月二十六日、将軍家光の死を契機に門人五千と云われた江戸の軍学者由井正雪を首謀とし、浪人生活の窮乏打開のため幕府転覆を企てた所謂慶安の変が発覚し、その結果正雪は自殺、丸橋忠弥以下加担者千余人はそれぞれ捕えられて処刑されたが、このお蔭で幕府の浪人対策は緩和されたといわれている。

芝居の「慶安太平記」は勿論、明治になってからのもので、明治三年守田座で七幕十二場物として初演された。明治になってはいたが、それでもまだ幕府筋への遠慮を駒ヶ瀬秋夜などと変名にしていた。今日ではそれも堀端と忠弥内と捕物の三場は先代左団次の忠弥が幕府雪一味に加わ深を測ってい とがめられる 愛想をつかし 安心をさせる てしまい、その 本水を使い、 捕物ぶりはい て気持のいい

ゾッとするはなし 怪談十話 (5)

湯殿の小坊主

橋エンジロ

さらさらと障子をなでる裳の音、裾をぼかした白地の着物、痩せおとろえた女の顔、と来れば怪談噺しも本格だが、広い世の中にはそういうお誂向のものばかりはない、これは一寸風変りな怪談ばなし。

映画の古強者羅門光三郎が若い頃働いていたことのある林五郎一座といえば、関西方面の巡業劇団の中では相当聞こえた一座だ。

この一行が備後の福山から北へ僅か入った荏原という田舎町へ近在の農民を当て込んで乗り込んだのは、いつあがるとも知れぬじめじめとした長梅雨に、濡れた柳の葉が重たく揺れる七月の初旬。

香ンばしくもない初日をどうやら無事に打ち出したのが午前零時過ぎ、それから明日の狂言の立や軽い立稽古を済まして各々が割り当てられた、楽屋のそれぞれの部屋にせんべえ布団の夢を結び始めた頃にはもう二時を回っていた。

この座の二枚目、座長の弟の林静夫が、羽二重を取ったまんまの白塗りの銀張ったかおに手拭をブラ下げて、ぬるいは覚悟の終い風呂にひたるべく上草履を突っかけ、頭で楽屋のれんを押し分けて一足廊下へ出たとたんギョッとして立ちすくんだ。

ひなびた田舎の芝居小屋だが旅芸人の二十や三十は楽に泊れる案外ふところの広いこの楽屋は、両側の部屋々々の真ン中にまっすぐに廊下が通っていて、その行詰りが雑用場に続く土間、その土間の突当りが湯殿になっている。

湯殿といってもロクに囲いもない関西お約束の五右衛門風呂がポツンとくすぼけた姿をみせている。その薄暗い風呂釜の上に、ついぞ見たこともない絣の着物を着た小坊主がしょんぼりと座っている。イヤ座っているにしては腰から下が…静夫はおのが目を疑がった。持っていた手拭で自分の目をこすった。そして再び見開いた目に写ったのはくすぼけた五右衛門風呂の姿だけだった。背中から水をかけられたような思いで、彼は声も出ぬまま部屋に戻ると頭から布団をかぶった。

それから半時程して「ギャッ」という悲鳴を聞いた一座の誰彼が驚いて駈けつけると、舞台裏に下座のおばさんが色青ざめて倒れていた。宵に置き忘れた稀を取りに行ったはやし場の隅でこれも絣りの小坊主をみたという。三日の興行を二日で切りあげた林五郎の一行は、その晩トラックで次場所上下町へ急いだ。

(漫才師) (え・小田明男)

※ ※ ※

風流のれん街

甘あまから クラブ

あの手この手

思う彼女を口説く法

アンタが長谷川一夫だの、鶴田浩二だのてェならイザ知らず、アンタのようなウ象ム象がだヨ、彼女に冷静な頭で理性を働かされたんじゃ、トウテイものになるワケがないじゃありませんかってんだ。まんず彼女の頭脳をして、半狂乱ないしは有頂天々の状態にして置くことが肝要なのである。即ち、深夜ひそかに彼女の家へ火をつけて、ネマキ姿をガッキと抱きしめて「お今晩は、私しゃあなたにアイブラユウ」てなことをササヤクとか(この手は逆の立場ではあるが、すでに先哲八百屋お七氏の用いたるものなり)或いは、宝クジを買い占めて百万円当ったヤツをプレゼントしてからヤオラ夕刊の当選番号欄を読んで聞かせてテキの胸の早鐘が鳴り出して来たトタンに「オー、私の百万円…いや違った、私の太陽よ」てなアンバイにやっつけりゃ、一コロうけ合いだヨ。百万円もったいないって？なァに、うまくいきゃ持参金で返って来るサ、アーそんなもんだヨ女なんてエもなァ、テモ風流なお話ではありませんかにィ、君ィ。

あぐら草紙

ナギナタ傷

山崎街道で舅の与市兵衛をシシと間違え、鉄砲で射ち殺してしまったものとばかり思い込み、申訳なさに切腹した早野勘平は、その断末魔のきわに「鉄砲傷に似たれども、これぞ刀でえぐりし傷」というわけで、舅を殺したのは定九郎と知ったがあとまつり。その上道行きまでした恋女房のお軽が、一力茶屋で結構楽しそうに遊里の勤めをしているので、あの世へ行っても浮ばれず、ある夜幽霊になってお軽の部屋へ現れました。お軽は幽霊とはわかっていても、かつて命がけでほれぬいた勘平だとわかるとすっかりうれしくなり「アア、勘平さん、あいたかった。あいたかったわいなァ」と鼻声とともに身をすりよせます。勘平もいつしか心も打ちとけてお軽の身体をだきしめましたが、トタンに勘平は血相をかえて「ガバ！」と立上りましたので、お軽が驚いて「勘平さん、どうしたえ」といえば勘平はガタガタふるえて「鉄砲傷や刀傷のことから、腹切って死んだ身どもだ。この上お前のナギナタ傷にさわったら、もう一度死になおさねばならぬ…」

もあらわに飛び出して来たところ

風流世界譚

…(日本)…

アメリカから濃縮ウランが日本に貸与される協定が調印され、いよいよ日本でも原子力発電が実現する見通しが強くなって参りました。原子力発電機の設計陣に加わることを命ぜられた浦部君は嬉しくてなりません。社命をもらってからというものは文字通り不眠不休の勉強ぶりですが、浦部君の悩みは恋人の洋子さんに会えないことです。今までは洋子さんの方からいろいろスキをみせるのに、その方面では堅物の浦部君は「まだ早い」と避けてきたのですが、会う閑が少なると物足らない気がしてなりません。それで久し振りにランデブーしたとき、浦部君はいとも真面目な顔つきで切り出しました。「きみ"放射能X"って映画みたろ？ ぼくも毎日微量の放射能を浴びてるので、凄いエネルギーが溜っちゃったんだ。このまま行ったらきみ一人じゃがまんできなくなりそうだよ」「じゃどうすればいいの？」「今からきみに馴れてもらえばいいのさ」という次第ですが、洋子さんもOKを与えたのですが、その帰途彼女は感嘆しながらいいました。「濃縮ウランってほんとに凄く放射するわね」

新刊紹介

◇かっぱ[illegible] ◇ちんち[illegible] 流通物集[illegible] の筆だけに[illegible] ない哀歌の[illegible] 形をして女[illegible] 「おやまさ[illegible] 味も面白く[illegible] 妖」のよう[illegible]められている。伊藤進一郎のカットも洒落れた味。(新書版一九八頁一〇〇円、あまとりあ社)

東海毒婦伝

青とかげ (18)

野沢純 / 土端一美 画

夏芝居 (五)

(お嬢さまのお手前にて、お茶を献じ度く、ついては向島小梅の里、萬の寮まで、まげてお越しを願われまいか——)

との丁重な手紙が、乳母から早瀬主水の手許へ届けられたのは、四、五日あとのことである。

早瀬はチラと当惑した。

あいにくとその日は、処も同じ向島、小梅の里にある水戸屋敷まで、出向かねばならない所用が一つ控えていた。つまりは二つの事が、かち合ってしまったのである。

(藤田先生への御用を差し置き、茶席に侍るわけにもいかず、さりとてむげに断るのも礼でなし、はて困ったのう)

と思ったのだ。

藤田先生——とは即ち、同じく水戸の藩士、早瀬にとっては師と仰ぐ、藤田東湖の事である。

日本六十余州の蜻蛉国に、三傑といわれた一人。

即ち肥後熊本の横井小楠、信州松代の佐久間象山、及び水戸藩の藤田東湖。

いわゆる水戸学派の総帥として、門人も多く、わけても早瀬ら若輩にとっては、畏敬の念、神にも近い人物であった。

学者にしてその臭味なく、酔えば朗々詩を愛吟し、左手に聖経を

たずさえつつ、右手に腰間の秋水を放って舞うという、一大権謀の主として知られてもいた。

(宝刀染め離し洋夷の血)

とある東湖の詩は、当時血気な若者らの血を湧かせたものである。

その藤田先生が今、向島小梅の水戸屋敷に来ている。

午の九ツ半(午後一時)から集まりがあるのだ。

月に一度の例会である。

午の後刻にはじまって二夕刻(四時間)あまり。席が果てるのは、大てい日暮れ刻である。

ところで尾張屋の一人娘・乳母のいわゆる「お嬢さま」からの、お茶の招きが同じ日の八ツ半刻(午後三時)

何と、まずいではないかいな——

その旨、使いの者に返書をしたため、持たせ返すと折返し、

(おそくとも、お待ち申しております)

と今度は、おりうからの、じきじきの手紙である。

一と筆しめしまいらせた、水茎の跡もあざやか——。

こうなると断りきれない。

身支度をした早瀬主水。

その日の集いを早めにきりあげ、向島の水戸屋敷を、途中からひそかに脱け出した格好で、出向いて行った萬の寮。

粋な構えの数寄屋づくりに、おりうは、とうから待っていた。

乳母の姿は何処にも見えず、迎えに出た女中の案内で通されたのは離れの一と間。

庭の築山、泉石の配置もよろしく、いかにも茶人好みである。

林泉の風致を眺めて座につくと、「入らせられませ——」

おりうが静かに両手をつかえる。衣裳美々しく、ことのほか、今日の化粧は念入りである。ふと気がつくと、その後ろに、襖がわざとのように半開き。そこからチラと覗かれたのは、二枚屏風の引き廻しの陰に、緋色の裏をぱっくりと、割ってひろげた友禅の夜具。

おりうは思わずハッとして、襖をハタリ！

頬はみるみる赤くなった……。

あすの運勢

高島象山

=七月二十六日=

▲一月生—物事順調に進展し商売繁昌あり改革異動は都合よく進展

▲二月生—物事に神経がとがり問題を起し易く向ほ他動的災害求む

▲三月生—稼業大事と辛抱強く努力すれば自然と向上し利達ある也

▲四月生—自己の所信を遂行して目的を達する商取引円満利達あり

▲五月生—何事も留調に流れ周囲の和を缺き失望損失を求めやすい

▲六月生—信念と努力が並行すれば進展し栄昌する面目一新はよし

▲七月生—好転躍進の運気ありて商売繁昌し稼業栄達する開業よし

▲八月生—進退に誤算を生じ失望損失を引き起す慎重に進退すべし

▲九月生—何事も信用厚く人気もあり栄達あるも新規の事は控えよ

▲十月生—理想の実現して安心幸福来る開業移転造作結婚は大吉也

▲十一月生—目に見て手に取れぬ苦労と困難あり徒労に帰しやすい

▲十二月生—利害損得をよく分解して心静かに活動すれば平穏なり

ラジオ・テレビ

25日(月)

時	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
6	00 ❶子供のシンブン❷岬の少年たち 桑山正一ほか 30 動物「オナナの塔」	05 英語会話❸きょうの市況 15 愛唱歌謡講座 富村正孝 30 科学クイズ 中谷宇吉郎	00 東西こぼれ話 柳小金治 15 スイート・コンサート 30 パイパイ・ゲーム	00 劇「少年宮本武蔵」 15 「すずらん太郎」 30 思い出の映画主題曲集	00 劇「ボツボちゃん」 15 「少年探偵団」 30 劇「熊五郎と弁慶」津村謙ほか
7	00 録音ニュース 30 三つの歌 愛媛県大洲市公会堂より 司会・宮田アナ ピアノ・天地真佐雄	00 メノツティ作曲 歌劇「ブリーカー街の聖女」 30 若い女性「朗読と歌のつどい」桜井道子 中山研子	00 録音ニュース 15 城の踊りて 東山千栄子 30 四つの明星 近江俊郎 奈良光枝 真木不二夫ほか	00 録音ニュース 15 アントンのチター独奏 30 ものまねコンクール 市村俊幸 淀川新劇団ほか	00 ラジオタ刊(耳の新聞) 15 落語 山田幸伸 30 ❶漫才 一歩・道雄❷落語「競馬狂」東京家太郎
8	00 お父さんはお人好し アチヤコ 浪花千栄子ほか 30 浪花節「海坊主」吉野夫二郎・作 鹿島秀月	05 きょうの国会から 20 座談会「子供を見る眼」中田茂春 日野照彦 吉田とみ子 司会・望月衛	00 オー・ヘンリイ物語「正札つきのロマンス」清水将夫 庄司永建 奈良岡朋子 30 タレント・スカウト	00 六大学春の音楽リーグ戦 アンコール・アルバム 30 劇「雪之丞変化」市川中車 岩井半四郎ほか	00 浪曲明治維新「黎明近く」春日百合子 30 大学勝抜歌合戦 石田一松 山内謙一
9	05 ニュース解説村田為五郎 15 街録「今後の日本外交にのぞむ」田中三男ほか 40 春子の手紙 メイコほか	00 名作劇場「罪と罰」❷小山源喜 坂本和子 名古屋章 臼井正明 網島初子 浅沼誉子 厳金四郎ほか	10 銭形平次捕物控「娘と黒法師」滝沢修 渡辺篤ほか 35 ❶漫才 A助・B助❷落語「麻のれん」柳好	00 これがタンゴだ 話・高山正彦 エル・チヨクロ他 30 浪曲名婦伝「川上貞奴」玉川勝子 植松よね子	00 僕等が歌を唱い終つた時 久慈あさみ 河井坊茶ほか 30 歌の二人三脚 佐伯徹 宮崎恭子
10	15 新家庭読本「お母さんとPTA」 40 納涼お国めぐり 札幌他	00 ❶初級英語 小野嘉寿男 ❷上級国語 増淵恒吉 45 気象通報	05 今日のニュースから 15 人情馬鹿物語 章太郎他 30 百万人の音楽田中希代子	00 大学受験夏期実力錬成講座 英文和訳 岩田一男 30 解析(I)田島一郎	00 劇「南無三宝」本郷秀雄 15 落語「のど自慢」右女助 35 劇「緋牡丹記」轟夕起子
11	10 世界をつなぐ 20 水と衛生 石川欣一・作	05 新商店読本 粟屋義純 20 肺結核の化学療法の問題	10 雨を追うレーダー 今井一郎 小平信彦 稲葉元志	00 青空会議「夏休みを迎えたよい子達」	00 スポーツ・カレンダー 15 日本人口の問題 下村宏

テレビ

★NHK★ ◆6・00 スポーツとともに◆6・30 芸に生る人 松田権六◆7・00 映画「ジャツクと豆の木」◆7・30 ジエスチヤー◆8・00 映画サロン「下郎の首」より◆8・30 劇「やがて蒼空」南条秋子 滝田祐介ほか

★NTV★ ◆6・00 鉛の兵隊◆6・15 ソプラノの独唱 柳兼子◆6・30 二人でお茶を◆7・30 寄席中継❶落語 今輔❷漫談 シヤンバロー❸落語 可楽❹舞踊 雛太郎❺漫才 ピン助・美代鶴❻落語 枝太郎

★KR★ ◆6・00 影絵「アリババと四十人の盗賊」◆6・20 映画「その日その時」◆7・00 しろうと寄席◆7・30 映画「楽しい教室」◆7・45 ルポ「海への招待」◆8・00 浪曲 梅中軒鶯童◆8・30 映画の窓「悪魔のような女」

あすの番組

NHK第1	NHK第2	ラジオ東京	日本文化	ニッポン
7・45 朝の訪問 長広敏雄	8・00 療養の時間 坂本秀夫	8・35 花ふたたび永井百合子	8・25 おしやべりレデイ	8・00 劇「サザエさん」
8・05 名演奏家の時間	8・30 大作曲家の時間	9・05 ウツカリ夫人	9・30 劇「青春のあるところ」	9・00 お早ようブーちゃん
8・30 私の銷夏法 石黒敬七	9・00 きょうの学校放送	9・30 音楽の花園 慕情ほか	10・10 一回だけの招待	10・00 やりくりチヨ子さん
9・15 主婦日記 杉靖三郎	10・15 高校生実力養成七週間	9・45 生活を綴る会魚返善雄	10・25 食慾のない子供	10・45 あの歌この歌 小畑実
10・05 けさの話題 三神茂	11・00 調子の話 野邑信次郎	10・00 若き日の悩み大木民夫	10・40 連続劇「君ひとすじに」	11・00 連続劇「悦ちゃん」
11・15 ジヨン万次郎漂流記	11・30 教師の実践記録	11・15 ママの読書 夏川静江	11・15 録音風物詩「谷川岳」	12・00 牡丹燈籠洋容・幸江

味の相談室

◇投稿歓迎◇ あの味この味、食べてみたいもの、店名の問合せなど振ってご投稿下さい。

◇送り先◇ 東京都中央区銀座三ノ五内外タイムス社内「味の相談室」係宛。

プロ野球選手とフジキッチン

問 浅草にプロ野球選手のタマリがあるそうですが、どのような店かお知らせ下さい。(浦和市ファン生)

答 多分区役所通り横の「フジキッチン」のことだと思います。この店は今月始めオープンした新しい店ですが、プロ野球選手、特に阪神タイガースの藤村兄弟、吉田、渡辺、白坂、田宮、三宅などの各選手が古くからマスターと馴染みだったとかで、上京すればチームあげてここに集ります。そのほかにも西鉄ライオンズ、近鉄パールズの有名選手もここに来れば敵味方なく和気アイアイとやっています。

店の構えはイタリアン・スタイルで、階下の喫茶部はハリウッド・スタイル、玄関脇の階段を二階に上るとキッチンは白と黒のモダンアートで、しいていえばナポリ風な落ついた感じ。浅草には珍らしい非常に凝ったものです。

マスターはちょっと三船敏郎を思わせるニガミ走ったいい男、大のスポーツマンで、野球、ボクシングのことならラジオの解説者以上といえる知識をもってファンのどんな質問にも即座に答えてくれるので評判です。珈琲やジュースもうまいけれど、洋食類の味はさすが一流、値段も割と安いので、野球ファンだけでなく、アベックや家族ずれなどでいつも賑わっています。"あれ、阪神の藤村兄だヨ"などと、恋人に知識のある所をヒレキするのも一興でしょう。

東京の酒場 1

山家 サンカ

新宿のド眞ン中のキャンプ・ファイアー

山家と書いてサンカと読む。といっても三角寛の小説のことではない。レッキとした大衆バーである。

場所は東京を代表する歓楽のメッカ、新宿は二幸裏通りの富士銀裏。夕暮れともなれば、青い灯、赤い灯の群がるバッカス共の祭壇である。しかし「山家」に一歩入ってみたら。これが新宿のド真ン中か？と思わず首をひねりたくなるのはそのサビた設備とフンイキである。

山小屋と一概にいえば、あそこにもあるここにもあると、ヘンにつむじを曲げたがる人もあろうけれど、まずはタマサレたと思って一度山家を訪ずれてからのこと。

薄明の明りはランプの光。涼風の流れは冷房装置というよりは、高原のそれを思わせるのも、みごと。スタンドに寄れば、高原のバンガローに夏の夜を憩う感じだ。

もし恋人ずれの一夜なら、キャンプファイアーの気分も出せよう。大衆バーだから値段は安い。終夜営業で、いつも芸能人がつめかけているのは、マスターやマネージャーの広い顔のせいだという。ボーイさんも美男揃い。一度訪ずれてみたい店である。

船越英二の巣

新宿・石の家

石の家といえば、戦後餃子ブームのさきがけをなした店として食通なら誰でも知っている。餃子がうまいのは勿論だが中国の酒——パイカルとかラオチュウなどを傾けながら肉まんを食べるのも夏の味のダイゴ味だ。ちょっと暑いがホーコーツという料理もる栄養学的にみると餃子や肉まん以上の逸品だから、ヤセ予防の薬のつもりで食べるなら、汁など何のそのである。食べ終えればモリモリ精がつくのは、ポパイのホーレンソー以上だ。船越英二がこの頃よくやって来て食べている場所は新宿南口・松竹横通りである。

女性のオシャレと店舗のオシャレ

同じ女性が同じ服装で立っていても、それが銀座の裏街か、皇居前広場の水を背影にした場所か、或いは丸の内の巨大なビル街かで印象はずい分違う。つまり、コスチュームというものは時と場合で違うのだ。これは何も女性のおシャレだけではないというのが、街と店舗の客の心理に応用出来る問題なのである。銀座で繁昌した方法を渋谷や新宿に持って来ても同じ効果が現われないとは先刻承知のことだろう。が実際は案外こんなナンセンスが横行しているのである。素人眼にはずい分立派な店でもサッパリ入っていないキャバレーもあれば、どこがよいか解らぬような店にいつも満員という事実もある。その相違はどこにあるか、大がい店の構造、照明、装飾や体の感じがその街の客の心を惹くかどうかで決まる。そういうことを専門に研究し、店の改造や設計など、手がけたら繁昌する迄責任をもってやってくれる"店舗の医者"が即ち渋谷エビス通りの「日本室内装飾KK」である。電話(45)4443・7505

街娼の生血を吸うヒモ

魔手を逃れて二人、警察に泣き込む

稼ぎが少いと殴り 客と泊ればリンチ

金貰ったら逃げろ 自分は背後で監視

「わたしたちが いくら更生したくとも、わたしたち の殆んどは情夫というヒモにしばられ身動きもできないのです」とこのほど浅草署捜査係にたまりかねて訴え出た浅草山谷の街娼たちがいた。婦人団体の必死の働きかけにもかゝわらずまたしても「売春禁止法案」が流産して話題を呼んでいるとき「どうしてもこうするより方法がなかった」と訴える彼女たちの語る「街娼の生態」を警察の調書からさぐってみた。

和田安正

その一 さる十四日浅草署捜査係へ頭をほう帯でまき、眼を泣きはらした一人の女性、台東区浅草田中町一の三小林君子さん(三)=仮名=は思いつめた表情で次のように訴え出た。

「恥も外聞も捨てて申し上げます。わたしは山谷の街娼で半年ほど前、当時おでん屋をしていた和田安正(三)と同棲をしましたが、間もなく和田は商売をやめ私を夜の街に立たせ、その収入で生活をするようになった。しかも一日千円二千円の売上げでは満足せず、そんな夜は働きが悪いと衣紋掛けでぶつ、蹴る殴るの暴行を加え、さらに私の先夫の子(八つ)にもあたり散らし三千円持って帰るとはじめて満足そうな顔をする。そのくせ金がほしいので泊り客でもとろうものなら、オレを忘れるな、とばかり嫉妬からまた殴られる」という。むくんだ両頬をなでながらの訴えに同署ではさっそく情夫の和田を傷害容疑で検挙、目下拘留中であるが、君子さんはこの機会に子供をつれ和田の手の届かない遠方へ姿をかくす用意をしているという。

その二 さる十日千代田区神田の店員森信さん(三五)=仮名=を旅館につれこみ五百円をもらったまゝドロンをして同署に捕った山谷四の一I旅館止宿の中島秋子(三五)=仮名=は頭数ヵ所、手の甲数ヵ所、その他全身に無数にある刃物の傷跡をなでながら「金をもらったままズラかるなんてお客に悪いことは百も承知だが情夫のS(三)が部屋に連れこんでから十分もそのままでいるとあとで物凄いリンチを加える。Sは"金だけもらったらすぐズラかれ"と刃物をつきつけて脅迫する。そのくせ顔を合わせるたびに"稼ぎがすくない、オレが食えない"と刃物三まいにおよぶ」と顔の傷跡にその痛ましさをのぞかせて語っていた。

小林君子さんの語るところによると、いま山谷にいる約三百人の街娼の殆んどがヒモつきで、ヒモがいる以上は身体がもたないとは思い、何とかしてこの泥沼からぬけ出そうとしても決して足を洗うことはできない。そして、売春問題がどう変ろうともヒモたちは現在と同じような献身的な奉仕を強要するだろうという。

こうしたヒモは殆んどが無職で昼間からパチンコ屋、スマートボール屋通いをしており、夜はパチンコ屋の店先から女の働き具合を監視しているのが普通である。彼らは街のグレン隊出のものもあるが、大部分は失業したり家業が失敗したりしてドヤ街に流れついたもので、高等教育をうけた者も少くない。たゞ安易な生活に馴れて街娼たち以上にその泥沼から逃れられなくなっているのである。

ヒモは自分の女が稼げなくなると他の女を物色したり、家出娘を狙ったりするが「いちばん悲劇なのは精力と腕力が衰えて、女に捨てられる時ですよ」ともいう。そのために時々傷害事件が起ったりするが、浅草署では「このような悪質なヒモは徹底的に摘発するから、この二件のようなケースがあったら、後難を恐れずどしどし届出てほしい」といっている。

世界の泳 あちらのコボレばなし

"水辺のニンフ(妖精)"などと水に縁の深いご婦人たちにおいておやというわけで、あちらの女性納涼法を二つ。

こう暑くちゃ水辺が恋しくなるのは西も東も同じこと。わけて"浅い川"やら

〇「=バケツの妖精…=」…二十二歳の娘盛りを誇るアン・チャプマン嬢はリーゼント公園の野外劇場に出演中の女優さん。彼女はシェークスピアの「テンペスト(暴風雨)」でニンフの役をやっているが、幕間にはバケツの中に冷い水を入れ、ヒザ小僧をむき出しにして水しぶきをあげる。「こうするととてもいい気持だし、なんとなくニンフになったような気がするのよ」と豊かに盛上った胸をつき出して背伸びした。【写真はバケツの中の納涼法を楽しむチャプマン嬢=キーストン特約】

〇「=オスの魚は美人がお好き=」〇…「どう、わたしの腕前。素晴しい獲物でしょ」とフィリス・シモンズ嬢は大はしゃぎ。コロラド州のフラザー付近のフラザー川はアイゼンハワー大統領も喜んでやってくる渓谷釣りの名所。季節ともなれば釣天狗どもが鱒釣りにやってくるが、シモンズ嬢のように水着に健康なお色気を発散させる女釣師も珍しくない。どうかすると彼女たちの方が男性より余計に釣上げ「ひっかかったのはオスの魚だけさ」とうらやましがらせたりする。【写真は大物を釣上げたシモンズ嬢=AP特約】

青酸カルピスで女主人毒殺

窃盗犯人 七年前の強殺を自供

原宿署ではさる二日午後四時ごろ窃盗容疑で、自称千葉県生れ住所不定無職宮川昌こと斎藤八郎(四〇)を逮捕取調べていたが、斎藤は二十四日夜「七年前の秋、池袋で友達二人と古物商の女主人を毒殺した」と自供したので、同署では池袋署に照会、裏付け捜査を行っている。

斎藤はさる六月二十日午前十時ごろ千代田区霞ヶ関三の三ダイヤモンド社修理工場に侵入、電気ドリル一台(時価二万円相当)を盗み出し、二日同署に検挙されたものだが、はじめ本籍地を千葉県東葛飾郡流山町と自供したが本籍照会をしたところ該当者がいないので追及したところ殺人を自供したもの。

自供によればさる二十三年九月五日夜十一時ごろ、顔見知りの中川雅典(当時二十一歳)寺田次郎(当時二十二歳)=同年十月二十一、二十二日に池袋署に殺人容疑で既に検挙=と共謀、豊島区池袋一の八二古物商浅川しんさん(当時二十九歳)に青酸カリを入れたカルピスを飲ませて毒殺、多額の現金を奪ったもの。

運転手斬らる

二十五日午前一時ごろ文京区駒込神明町三二三極東自動車運転手前田米一さん(三〇)は板橋区板橋八丁目付近で駒込駅前から乗せた丸顔とやせ形のいずれも二十五、六歳五尺二、三寸、白登山帽の二人連れの男に停車を命ぜられ、いきなり短刀様のもので左腕に斬りつけられ、料金百八十円を踏み倒されたと板橋署に届出た。

16娘を誘拐

売春強要 姉と女将捕わる

警視庁保安課衛生係では二十五日までに、台東区浅草千束二の二四九飲食店"春の家"経営者鈴木はる(四六)同区南稲荷町五〇鈴木の実姉、無職田尻かね(五三)松戸市小山町三八九無職岩井ふみ子(三〇)の三名を営利誘拐および児童福祉法違反容疑で検挙した。調べでは鈴木は飲食店を看板に売春婦三人を抱え、外人相手に売春させていたが、女が足らないため知人の岩井の実妹、A子さん(一六)に目をつけ、岩井に相談したところ「A子は十二歳のとき不良にいたずらされ、どうせ尻の軽い娘だから…」と承諾、三名は共謀してさる三月中旬ごろ港区麻布新堀町一四やきとり屋「とり八」に住込み女中をしていたA子さんを甘言で誘ったが拒否されたため同月二十八日「姉さんが病気で入院しているから」とだまして鈴木がA子さんを連れだし、その晩からいやがる同女を付近の旅館やホテルで強制的に外人相手に売春させていたもので、岩井は、その後お礼として鈴木から二千円をもらっていた。

阿蘇、猛噴煙

鳴動はげし

【熊本発】噴火活動期に入った阿蘇山第一火口は二十五日朝人頭大の無数の火山弾をふきあげ午前十時すぎ小爆発を起し、火口底から百㍍上空に大小の石をふきあげている。鳴動激しく噴煙は灰色に変って高さは約五百㍍に達し、北川山麓阿蘇谷一帯にまで火山灰を降らせている。こゝ数日は警戒を要する。

【写真は噴火活動期に入り猛煙を吐く阿蘇山=共同熊本電送】

城南一帯36件

現金泥棒捕わる

本富士署では二十四日夜住所不定無職山口庄太郎(三一)を窃盗容疑で逮捕した。山口は銀座でバーテンをしていたが三月にクビになり、五月十八日午前二時渋谷区神宮通り一の二〇材木商秋山兼松さん(三〇)方にしのびこみ、現金五万五百円を盗んだほか、城南一帯の材木商などから自供しただけで現金ばかり三十六件百万円の盗みを働いていたもの。

養母をワイセツ罪で逮捕

家出の花柳櫻子さんの告訴で暴露

神田署ではさる三日家出、捜索願が出されていた千代田区神田小川町三の三日本舞踊家花柳桜子こと木村甫江さん(三五)につき捜索を進めていたが、二十五日朝甫江さんの養母、演芸ブローカー木村のぶ(六二)を傷害、強制ワイセツ容疑で検挙した。

調べでは甫江さんは六歳でのぶの内縁の夫、演芸ブローカー出浦一水さんの養女となったが、出浦さんの死後のぶは自分の養女とし、甫江さんの日本舞踊で生活していたが、不景気で二十四年ごろから強制的に赤坂、神楽坂、新橋方面のお座敷ストリップとして出演させていた。

のぶはさらにさる一月ごろから旦那をとれと強制、文京区大塚の菓子商某(五八)をもたせ、旦那へのサービスが悪いといって局部にいたずらをするなどのセッカンをしたので甫江さんは耐えかね三日家出知人宅にかくれた。のぶはおくめんもなく家出捜索願いを神田署に出して今度のさわぎとなったものだが、甫江さんは知人宅からひそかに告訴状を提出、のぶの逮捕となったもの。

三角関係を苦に服毒

二十五日午前一時ごろ荒川区町屋三の一三二〇無職大井朝子さん(三一)は、自宅でブロバリン自殺をはかり重体。原因は三角関係を苦にしたもの。

川口オート

市営第五回川口オートレースの後節は二十七日から三十一日まで正午発走で開催される。特別レースは二輪車が今節の二日目に三㌔、最終日に五㌔で各十レースに、四輪車は三㌔戦のみで同二日目の十一レースに行われる。各級別の主力車、選手を挙げれば▽一級車=◎川口ロールキング(河北)〇ジョーホク(河村)×ヤングボーイ(秀平)△ヘルスメグ(安藤主)▽二級車=◎ゴジョー(河村)〇ミクニアマル、田村)×ナガアキ(河北)△ヤマグチ(迫永)▽三級車=◎タカオ神田(桑原孝)〇スズホープ(国武)×オクムサシ(田中孝)△エキセル、武藤)▽四級車=◎カンダ極東(桑原孝)〇オートビット(相垣)×カンダ(滝口)△キングダイナー(堀越)▽四輪車=◎エスエス(荻野)メイダ(岩崎)〇キンカブト(相田)△ロケット(相田)×このほかグロリー、ブライトマン、タマチオオタ、ヒエン、OSマコトに注意。(京一男)

松戸競輪五日目成績◇第一B(六六六)①黒岩章53秒0②福島徳③杉山十(単)170円(複)120円130円470円(連)④—②520円◇第二B(六六六)①高橋久52秒6②野口友③鬼尾岩(単)110円(複)100円100円170円(連)④—③290円

あすのスポーツ △プロ野球 国鉄対大洋ダブル・ヘッダー(五時、川崎)大映対西鉄ダブル・ヘッダー(五時、後楽園)△ボクシング 日本ミドル級タイトル・マッチ 辰巳対横山(七時、王子)△女子野球 都知事杯トーナメント(三時、駒沢)△競馬 船橋(十二時)

独眼灯

〇…浅草署では二十四日夜台東区浅草田中町少年A(一八)をワイセツ現行犯で逮捕した。

〇…この少年ロックのD映画館三階で隣りの席のアベックが映画ソッチノケの情熱実演にスッカリ魅せられ、暑さの二重奏に映画なんかオカシくって見ちゃあいられんと同館を飛び出した。

〇…そして台東区谷中初音町先にくると、夕涼みに出ていたM子さん(三八)をみて欲情の炎をもやしてだきつき、いたずらしようとしたところを捕えられたもの。「あのアベックが闇婆犯人です…」とこの少年ボヤいていた。

たのしく、涼しく

皇居内で緑陰学校

両陛下ご出発の原宿駅

▽…「わあーい。この椅子はとてもラクチンだぞ」と緑陰学校のこどもたちは大喜び。涼しい風の吹きまくるきょう二十五日午前十時、皇居内の緑陰学校がことしも開かれ、千代田区富士見小学校などから児童約二百名が集った。

▽…これは毎年七月二十五日から八月二十五日まで千代田区が区内の虚弱児童のために開くもので美味しい冷い牛乳をたっぷり飲んだり、午前からは虫採り、プランコなどで楽しい一日を過させる。一週間交替で約八百人を収容して夏休中に虚弱児童の不名誉を返上してしまおうというわけ。

【写真は楽しく歌う緑陰学校のこどもたち】

強風夜おさまる 気象台発表

「東京地方の強風は二十五日も続きましょう」と、中央気象台が二十五日午前十時次のような注意報を発表した。オホーツク海に発達した低気圧があって東に進み、本邦の南海上には高気圧があるので南西ないし南寄りの風が強くきょう一ぱいは続こう。最大風速は陸上で十ないし十五㍍海上では十五㍍を越えよう。なお晩は一応弱まるみこみ。

毒蛾被害さらに19名

二十五日都衛生局に入った報告によると、二十四日から二十五日にかけて、杉並区和泉町七一四会社員千石浩郎さん長男元則さん(三五)が毒蛾に刺されたのをはじめ、十九名の被害者があった。これで都内の毒蛾による被害者は二百十九名になった。

両陛下軽井沢へ

天皇、皇后両陛下は二十五日午前十時三十分原宿駅発、午後一時五十分軽井沢駅着で皇太子さまが毎年夏を過されるプリンスホテルにおいでになった。各国大公使をはじめ外人たちに親しまれている夏の軽井沢の風物見学と、皇太子さまの生活ぶりをご覧になるのが目的であるが、これまでの産業、社会などいわゆる諸施設ご視察の旅行と異って、自動車にも皇太子さまが同乗して案内されるという気軽な旅行で、二十六、七の両日、鬼押出、浅間牧場、火山観測所、旧軽井沢町内を見学され、二十八日帰京される。

エムさん 石川進介

「エムさん お客さまに西瓜買ってきてよ」
「ハイ」
「おばさん 西瓜やめた方がいいですよ」
「あら どうして」
「あの出っ歯じゃ一つ食べてるうちに皆んなたべられちゃうもの」

海山天国 あちやらこちやら ⑨ 森戸浜

御同伴ヨット心得帖

逗子駅からバスで十五分、おりたらスグ目の前が葉山森戸海岸だから、一度いらしたお客さんは毎年いらっしゃいます、と業者は自信マン〱。

ヨットが珍しい。一時間二百円、なれない人には船頭がサービスします、という。

「アベックは船頭をつけるとイヤがるんですが、素人さんですと事故がありますんで、必ず船頭を乗せることになってます。しかし、忙しい日ですとツイ素人の判別に手ぬかりして……オイ、あの八号、帆にアナあいてるじゃねえか、いまに引くり返えすぞッ」

と望遠鏡で沖を監視しているから、ウッカリ人目がつかないのを幸い、楽しい船をゆるがせると陸から丸見えだから注意が必要というもの。ほかに和船に布の屋形をつけた遊覧船というのがある。釣人を乗せて一時間二百五十円で沖へ行くのだそうだ。

「夏は漁場はヒマですからよう遊んでるよりマシだ。とやってまさァ、百円でも二百円でもようがすからダンナ竜宮城にご案内しますぜ、乗って下さいよ」と沖を指さした。そこが竜宮島だそうだ。「アベックの天国ですよ。岩かげやそこいらでラブシーンが見られますぜ」といった。

わざわざ沖まで涼みに出ながらアツイ場面を見せられアテられてくるなんてイミない話。この島の夜は殊に濃厚だそうだ。

「わしらは夜は舟を出しません。事故が多いんです、うっかり心中者にでもブツかったら漁師は縁起かつぎでクサるからね」とのこと。

アマがいる、というので岬をまわってみたら儀のアワビの片想いで、男のアマにはガッカリした。もっとも、このアワビ取り、一貫目三千円もする大アワビで、竜宮島の濃厚さを見せつけられているセイか、年増のようにランジュクしておった。

えと文 森比呂志

続 情炎の千代田城 (188)

岩崎栄　寺本忠雄画

初午（二）

「飲めよ」
本人が湯呑を千代太郎につき出した。
「そんな大きなもの、ごめんですよ」
「そうか。じゃ勝手に飲め。だがおい、千代テキ」
「へえ」
「今夜は、生れて初めての泥棒を働くことにしたぞ」
「え？ ドロボー？ 誰が」
「おまえだよ」
「へえ！」
当人よりも八百定が驚いて、
「とんでもねえ。御直参千五百石の若君をトッつかめえて、泥棒しろたァけしからん」
お辰は、
「酔ってるんだよ、先生は」
で、歯牙にもかけない。
「大仕事を決行するというのに、これだけ顔を揃えて一両の路銀もくめんがつかぬとあっては、泥棒でも働くほかに手段はなかろう。どうじゃ、千代テキ」
「新井先生に借りねァいいでしょう」
「なにをいうか。白石は公儀の役人だ。将軍の顧問だ。大名征伐のもとでが出させるか」
「と、するとやっぱり泥棒で稼ぎ出すよりほかにはないかな」
「これ、千代太郎、何をいうんだね、おまえさんは」
お辰が漸く本気の顔色になる。
「ちくしょうめ、困ったことになりゃがったぞ、こいつ」
八百定が珍らしく深刻な表情で腕ぐみする。本人は委細かまわず、お静に、
「おまえも一と口加担するんだ。こまっちゃくれをつれて」
美容利のことだ。
「先生、どこィ泥棒に押し込むんですか」
「荻原のドロボー屋敷だ。毒を以て毒を制するのだ。文句があるか」
「あそこならば、文句はありません。やりましょうよ、ね、千代ちゃん」
「ヘッ、あきれたもんだぜ」
八百定は匙を投げたような顔つきだ。
「なにも呆れることはない。あそこにある財宝は悉く、賄賂、袖の下だ。奸商どもが、天下国民を絞り取った血の汗を担ぎ込んで居るのだ。そいつを奪いかえしてくるのがなぜわるい。天地神明に恥じぬ義挙だ。大いに決行しようぜ」
「やるべえ、やるべえ」
千代太郎が手を打ち、
「よくわかりました」
とお静はおじぎをした。
「おいお辰ッ、おいらも、なんだかやっつけたいような、妙ちくりんな気持になって来やァがったぜ。尻の下がムズムズすらァ」
「そうかい。無理もないやね。いっそみんなで繰り出そうか」
「てめえもか」
「あたりきだよ。オットの討ち入りあそばすを、ツマが知らずに居られようかだ」
「面白し。一族郎党みんな召しつれるぞ」
とういう一家である。
本人は大よろこびで、一升徳利と湯呑を両手に、
「千代テキ！ 作戦だ。兵法に曰く、ハカリゴトは飲みながらやるをよしとす。こっちに来いよ」
次の間へ千代太郎をつれ込んだ。
八百定は向う鉢巻をしめ込み、両手に唾を吐きかけてお辰に、
「よオッ、ツマよ」
「なにをいってるんだよ。ツマらない」
「赤飯を炊きねえ、尾頭つきだ。出陣だ」
「合点だよ」

邦画 秋の大作へ

巨匠連のラインアップ

邦画界は「修禅寺物語」「宮本武蔵」「幻の馬」と各社の天然色作品をお盆興行にぶっつけて上半期を終り、いよいよこれから「映画の秋」を控えた下半期の製作に入るというところだが、そのラインアップをながめてみると、黒沢明、木下恵介、小津安二郎、渋谷実、山本薩夫など今年になって初めての一年一作主義の巨匠から成瀬、溝口、今井、内田、久松、衣笠という一流監督がそれぞれ製作または準備中という珍しく充実した状態となっている。

黒沢明　小津安二郎　内田吐夢　久松静児　木下恵介　成瀬巳喜男

クギをさゝれた 黒沢監督

まず話題となったのが黒沢明監督の「死の灰」、九月末完成予定で六月から製作準備に入っていた。ところが七月八日突然黒沢監督が持病の真田虫で入院し、一時は製作延期説まであったようだが、やっとこの二十五日からクランク・インのはこびとなっている。もっともこの作品は製作日数七十日間と限られているから「七人の侍」の二の舞は絶対困ると、厳重にクギをさゝれているそうだ。その理由としては、十月から主役の三船敏郎が「宮本武蔵」完結篇に入るスケジュールがあるからというわけだ。ところが「死の灰」に出演予定だった司葉子はすでに東京映画の「愛の歴史」に出演しているし、青山京子も成瀬巳喜男監督の「くちづけ」に出ているとあって、こんどの黒沢作品は甚だすべり出しが悪く、従来「カケ持ち絶対お断り」の彼もこんどばかりは妥協せざるを得ないようだ。

小津監督 一年ぶりのメガフォン

また一昨年の「東京物語」以来二年目でメガフォンを取る小津安二郎監督は松竹で近く「早春」（野田高梧と共同脚本）の撮影に入るが、このところコンビの厚田雄春カメラマンと田園調布、多摩川界隈を連日ロケハンに歩いている。そこで先日の雨の日も朝八時に国電蒲田駅で待合せたところが、折柄のラッシュアワーで助監督の一人が遅れてしまった。毒舌家の小津先生その青年を見たとたん皮肉たっぷりでこういった「脚本に二年かかったから少々遅れるのは仕方ないがね、そんなことは君たちが手伝ってくれなくてもいゝよ」と。そして雨の中をスタスタ、レインコートだけで歩き回ったという話だ。有名な凝り屋の小津監督だけに、ワンガットのロケーション地でも決定するまではこうして少くとも五、六カ所歩き回るが、その点比較的ロケ地を簡単に決めるのは内田吐夢監督だ。つい先だっての「たそがれ酒場」でもワンセット、ワンステージの珍らしい作品だったが、こんどは日活で石川達三原作「自分の穴の中で」を製作、続いて東映で北条秀司原作「栗山大膳」新東宝で柴田錬三郎原作「刺客心中」と口がいくつかゝっているが、それぞれセットを主にして撮影するという。また内田監督と並んでこのところ引張り爪なのが久松静児監督で、目下日活で製作中の壺井栄原作「月夜の傘」の後は、同じ原作者の「雑居家族」と続き、なお東京映画からは川端康成原作「はたち」を石浜朗、若尾文子主演でどうかと申し入れがあった模様。もしこれが実現すれば若尾は「月に飛ぶ雁」に続いて二度目の他社出演になるわけだが、七月末大映と契約のきれる彼女の動きが注目されている折柄、久松演出の「はたち」は作品の魅力だけでない興味もあろうというものだ。

問題作が目白おし

その他「由起子」を完成した今井正監督は十月に正木ひろし原作「裁判官」に入るし、木下恵介監督は目下製作中の「遠い雲」に続いて「天地有情」を製作、渋谷実監督は三年越しの「青銅の基督」を上げた後、続けて秋に「モンペをぬいだ娘」を撮ることになっている。その他成瀬巳喜男のプロデュース兼演出というオムニバス映画「くちづけ」英国へロケーションするという横光利一原作「旅愁」など、今年の下半期は巨匠、大監督の大作、問題作が目白押しに並び豪華な番組が見られるのはたしかだ。

ハリウッドのスターたち

余りに早過ぎな結婚

上オードリー・ヘップバーン　下メル・ファーラー

アーリン・ダール

（世）紀のギャンブル」と称せられたオードリー・ヘップバーンとメル・ファーラーの結婚もやがて一年目を迎えようとしている。去年の春アカデミー最優秀女優に選ばれて人気絶頂のとき、顔見世の触れ込みでヨーロッパ旅行中、八月二十五日スイスで突如結婚、それをそのまま蜜月旅行としゃれ込んだニュースはまさにセンセーショナルなものだった。以来一年、いまだにヨーロッパで暮している彼女の人気はフェイドアウトの一途を辿るばかりである。

彼は結婚経験三度目、それも一回と三回目は同じ女性、四人息子の父である。スイスはルツェルン湖畔、幽玄の雰囲気ただよう十三世紀の教会で演出効果満点の式をあげたのだが、ヘップバーンの母や親類が「やっとハタチで名声に酔っている」と愚痴るのも無理はなかった。

（ビ）リー・ワイルダーが「彼女こそヴァン・ゴッホ（画家）以来オランダの生んだ素晴らしい人物」といったのもこんな有様では「素晴しい感性も理性」も容貌も台なしである。骨張った顔、出歯でオーバーサイズの唇、扁平胸。グレタ・ガルボの昔、扁平胸でも一世の美人と謳われた時代はあったが、戦後モンロウやラッセルの肉体派に食傷気味のところこそヘップバーンの持つアンチ肉体美の魅力もあったに違いない。しかしいまとなってはもはやそれは何でもないものになってしまったヘップバーンはM＋W型のハシリであったかもしれないが、このような世の好みをよそに彼女がファーラーの妻としてMの要素を努めて取除こうとしているところにも彼女の人気が下火に向う原因はあるようだ。

一方このような下火の人気をバックに「賭はなされた」と呼ばれた彼らの結婚もようやくこのごろ落着くところに落着き始めた。「男には注意しない、ヘップバーン」こういわれていた当時をしのびながら、彼女は現在スイスを根城に、「戦争と平和」でファーラーと共演しているが、近ごろ親しい同性の友だちに「彼とは別れなければ…」と洩らしているそうだ。

危っかしいカップル
賭けられたヘップバーンとファーラー

（危）っかしいカップルはほかにもある。それはアーリン・ダールとフェルナンド・ラマスだ。彼はラナ・ターナーと別れ、彼女はレックス・バーカーと結婚したが、一歩先にゴールインしたラナ、レックスの陰にかくれて、ダールとラマスは地味な逢瀬をつづけていただろうの情報は相当派手にクローズアップされていたがゴールイン。しかしその将来は永続きしそうもないゆえにここでも「賭はなされた」と喧伝された。朝に献身を誓い、夕に熱ざめ…では教会に提出した結婚誓書が泣こうというもの。この二人の場合はラナ、レックスに対する意地が二人の情熱をいやでもかき立てたとみられる節があるから、純粋衝動の結びつきではないわけで、この点からも永続きしないとみられても仕方ない。一方レックス、ラナも初めはそう見られたが、いまではすっかり腰をすえ、四、五年が終生までも添いとげそうなので、意地が本モノになり、ラマスとダールも案外続くかもしれないが。

新劇あらさがし

素直な演技に好感

若き啄木（劇団稲の会）

▽…もと東童の幹部俳優たちを中心に、一月ゴーゴリ作「鼻」の翻案もので旗上げした劇団の第二回公演、藤森成吉作の五幕で彼の戯曲中最も知られたものの一つ。明治四十年、啄木が故郷渋民村で食うや食わずの貧乏暮しをしていたところの家庭と学校の生活を描いたもの。演出関口潤。

▽…この暑い季節に冷房のないホールで、情熱詩人の芝居を、しかも上演時間四時間と来てはやりきれないが、啄木に扮する納谷悟朗始め出演者一同大変素直なクセのない演技で好感が持てた。特に第三幕、一家の貧乏を見かねて父親（宇津木祐）が深夜ひそかに家出、その後で妹（柏木節子）兄啄木の非現実的な空想癖を痛烈に指摘する辺りの盛上りも利いている。

▽…若い連中ばかりなので総体に老け役の無理が感じられたが、教頭役の堤順一がちょっと面白い味を出していた。納谷は各幕でよく知られた歌を即興的に朗誦するのだが、そういう天才肌の芸術家ぶりを今日の感覚でも不自然に感じられずやってのけていたのは、主役の浮上りをよく抑えた演出の故だろう。だが啄木七十周年記念といっても、こういう長いものは上演の季節やホールを選ぶことが大切で、こうした点に若い劇団はとかく考えが及ばないのは困る。中労委会館。（雷）

【写真は五幕の幕切れ】

各局が豪華番組

8月15日を中心に企画

終戦10年と原爆記念

各放送局はいま八月十五日を期して終戦十年と原爆記念をあわせた豪華番組の企画に大童である。目下その最豪華版はラジオ東京の戦後十年・終戦と原爆特集で、社会、文芸、音楽、報道の各部門を動員、文芸面では終戦後今日までの姿をラジオ・ドラマにし、音楽関係では来日した音楽家でKRに出演した人々の演奏を再生の予定、また特に注目されるのは江間報道部員を東南アジア各国に派遣、約二週間にわたって現地の模様を録音報道すること、しかし放送日時はスポンサーとの交渉があるので目下未定。

文化放送では六日から九日までを原爆、十日から十五日までを終戦特集とし、十三日午後二時から五十分間「マイクの広場」の時間にソ満国境で玉砕したといわれる第十五国境守備隊の活躍をドラマ化して放送。また広島、長崎で被爆した家族の生活記録や、ラジオ九州と提携の現地録音「傷痕未だ消えず」を報道する。一方民間放送に対するNHKは目下のところ広島と長崎を結ぶ二元放送だけである。

はと笛

▽…俳優座の大塚道子あまり飲める方ではないがビール一、二本の程度ならイケる口だ。少しでもアルコールが入るとお不動様の火事見舞よろしくケンランたる顔色になる。つい最近のことだが、ホロ酔いで一人山手線の某駅で電車を待っていると知り人に出会った。

▽…この男、幸い（？）近眼だったが、「おや、大塚さん、こちらにお住いですか」は、違いますか。するとお買物でも、何でお店で？」とウルサイので、面倒臭くなった彼女「ラ・メール（海というフランス語）よ」と店の名をいうと、あくまでキザなこの男「あゝ、泳ぎにいらしたの？ 道理でお顔が見事に陽に焼けてらっしゃる…」とはいやはや。【写真は大塚道子】

都々逸　石井きんざ選

偉くなります貴女のためになぞとまだまだ若い恋　浦和・尾迫通夫

日毎々々に可愛さまして代り番こにあやす膝　新宿・斎藤耕月

きっぱり一度は諦めながら奴にはゆずれぬ意地の恋　文京・木村いつ秋

石一つ投げりや揺がる波紋と同じ噂が噂を生む浮名　南千住・松永志ん

ぱっと明るい花火は消えて元の二人にかえる闇　長岡・鈴木六司仙

◇

あの娘もやっぱり戦後派だった四十男とする浮気　選者

催し

日本演劇協会納涼懇親会　二十八日午後五時半から浅草柳小路の「源[illegible]」で催される。当夜は会長久保田万太郎氏始め北条秀司、川口松太郎、菅原卓、安藤鶴夫、戸板康二、菊田一夫、阿木翁助氏らや歌舞伎、新派、新国劇などの幹部ほかの演劇関係者が出席、内山惣十氏の司会により女剣劇、ストリップ、安来節などに打ち興じる予定。

おしゃべり横丁

巨頭会談

鉄鋼株下る

何しろ鉄のカーテンが払下げられるかもしれないんでね。　ークズ屋